

**授業概要**

「東洋」、「オリエント」、「アジア」地域に生まれた思想について、その思想の誕生した歴史的背景、思想内容、そしてその思想がもつ現在の意義を、講義する。さらに各思想が世界各地にどのように伝播し、その地に影響を与えているのかについて、世界史的な意義についても講義する。

**授業計画**

|        |                   |
|--------|-------------------|
| 第 1 回  | はじめに              |
| 第 2 回  | 人類と信仰             |
| 第 3 回  | インド思想の成立          |
| 第 4 回  | 釈迦の思想①釈迦の生涯       |
| 第 5 回  | 釈迦の思想②真理のことは      |
| 第 6 回  | 釈迦の思想③伝播と変容       |
| 第 7 回  | アラビア半島の思想         |
| 第 8 回  | 一神教の思想            |
| 第 9 回  | 律法主義思想            |
| 第 10 回 | 中国の思想①            |
| 第 11 回 | 中国の思想②日本への影響      |
| 第 12 回 | 「ウエスタン・インパクト」とアジア |
| 第 13 回 | 「反近代」の模索          |
| 第 14 回 | 東洋思想と西洋思想         |
| 第 15 回 | まとめ               |
| 第 16 回 | 筆記試験              |

**到達目標**

東洋思想の重要事項について基礎的知識を習得し、東洋思想に共通する潮流を理解する。思想家、思想の生まれた歴史的背景、それぞれの思想家、思想内容の関連に留意し、現在における影響、現代的意味を理解する。

**履修上の注意**

東洋史概説の履修者がのぞましい。

**予習・復習**

シラバスに従って思想、あるいは思想家についての基本的な知識を予習しておくこと。講義後は、配布されたプリントと参考文献などを読んで知識を深めておくこと。

**評価方法**

授業中の態度、授業後に回収するリアクショペーパーの内容が 50%、学期末の筆記試験 50%として総合的に評価する。

**テキスト**

テキストは使用しない。授業中にプリントを配布する。参考文献は適宜紹介する。参考文献は授業中、紹介する。